

観光先進国の実現のための新たな3つの柱 (「観光ビジョン実現プログラム2018」のとりまとめに向けた主要施策)

観光戦略実行推進TF
とりまとめ
2018年6月11日

2020年訪日外国人旅行者数4,000万人、旅行消費額8兆円等の目標の確実な達成のためには、個人旅行化を踏まえた地方への誘客の一層の促進、「モノ」消費から「コト」消費への移行を踏まえたインバウンド消費の更なる拡大等に取り組む必要がある。このため、①「観光資源の保存と活用のレベルアップ」、②「世界水準の旅行サービスの実現」、③「JNTO・DMOの大胆な改革」という新たな3つの柱の下、新たに創設予定の国際観光旅客税も活用しつつ、既成概念を打ち破る大胆な施策を実行する。

① 観光資源の保存と活用のレベルアップ

<魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放>

- ・ **三の丸尚蔵館収蔵品の公開拡充**のため、三の丸尚蔵館の増築や他の美術館・博物館と連携した展示の拡大等に取り組む。
- ・ **桂離宮**について、1日当たりのガイドツアー回数・総定員を拡充（6回→24回、210人→480人）するほか、外国人専用の英語ガイドツアーを新たに実施する。
- ・ 民間活用、地域連携、料金徴収により高質なサービスを提供し、**満足度向上を図る取組をポテンシャルの高い公的施設・インフラで重点的に推進**するなど、公開・開放の拡充を図る。

<文化財の観光資源としての開花>

- ・ **VR、高精細複製等の最新技術を駆使**した日本文化の魅力発信、外国人にとって分かりやすい**多言語解説整備の推進**、博物館・美術館等における**参加・体験型プログラムの充実**や**開館時間延長の更なる充実**、観光客が体感・体験できるよう、歴史的な出来事や当時の生活を再現する「**Living History**」の推進、**学芸員等による日本文化の発信強化**等に取り組む。
- ・ 我が国の文化財情報を国内外に向けて発信するポータルサイト「文化遺産オンライン」に掲載されている文化財情報について、デジタル化・2次利用に向けた条件整備・多言語対応等を図り、**2020年までに国宝・重要文化財のデジタルアーカイブ・多言語化を実施**する。

<国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化>

- ・ 「国立公園満喫プロジェクト」の中間評価を行い、**ICT等を活用した魅力的な多言語解説や情報発信**、自然や温泉を生かした**アクティビティの充実**、**質の高いホテルの誘致**、**ビジターセンター等の公的施設への民間カフェ等の設置**、**自然保全コストの一部の負担を利用者に求める仕組み**の導入、**景観デザインの統一等の景観改善**に向けた取組等を推進するとともに、先行8公園の成果や事例を他の公園にも展開する。

<古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進>

- ・ **旅館業規制の緩和や建築規制の合理化**等を通じて、地域の古民家等を宿泊施設等に改修し、観光まちづくりの核として面的に再生・活用する取組を推進し、2020年までに全国200地域で取組を展開することを目指す。

<新たな観光資源の開拓>

- ・ **ナイトタイム等の有効活用**、**観戦型スポーツ等のインバウンド対応**、**ビーチの活用促進**等により新たな体験型コンテンツの開発に取り組むとともに、**公共空間の柔軟な活用**、**エンターテインメント鑑賞機会の拡大**、**VR・AR等の最新技術の活用**等を進める。

観光先進国の実現のための新たな3つの柱 (「観光ビジョン実現プログラム2018」のとりまとめに向けた主要施策)

観光戦略実行推進TF
とりまとめ
2018年6月11日

②世界水準の旅行サービスの実現

<「地方創生回廊」の完備等>

- ・ 関東地方において訪日外国人旅行者向けICカードの導入を促進するほか、「ジャパン・レールパス」の更なる利便性向上策を検討する。
- ・ 北海道における外部事業者による観光列車運行の仕組みを検討するほか、新千歳空港のアクセス路線のサービス改善を図る。
- ・ 訪日外国人旅行者のレンタカー利用に対応するため、「道の駅」のインバウンド対応促進、訪日外国人旅行者向け高速道路周遊パスの充実、高速道路ナンバリングの整備や道路案内標識の改善、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用したピンポイント事故対策等を推進する。
- ・ ドイツ、フランス等からの訪日外国人がレンタカーを運転する際に必要となる日本語翻訳文の入手に関し、利便性の向上を図る。

<公共交通利用環境の革新>

- ・ 旅行者目線で利用環境を刷新し、世界水準の旅行サービスを実現するため、2018年度中に全ての新幹線で無料Wi-Fiサービスを開始するとともに、訪日外国人旅行者の利用が多い在来線特急等における無料Wi-Fiサービス拡充のための整備、決済環境の整備、多言語対応の促進、駅ナンバリングの全国展開、新幹線車両等におけるトイレの洋式化や大型荷物置き場の設置等の取組を推進する。
- ・ 2018年度中に全ての新幹線・全国の在来線特急の海外インターネット予約を可能とし、将来的な予約ページの共通化を検討する。

<最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現等>

- ・ 最先端技術・システムの導入等により、出入国審査、チェックイン、保安検査等の旅客手続や動線全体を円滑化・効率化し、空港・港湾におけるFAST TRAVEL・SMOOTH VOYAGEを実現する。
 - 顔認証技術を活用した顔認証ゲートを羽田空港、成田空港、中部空港、関西空港及び福岡空港の出国・上陸審査場に本格導入するとともに、バイオカート導入空港の拡大等を図り、空港での入国審査待ち時間20分以内を目指す。
 - 入国旅客の携帯品申告情報及び旅券情報の電子的提出を可能とする税関検査場電子申告ゲートを2018年度中に一部空港で先行導入するとともに、高性能X線検査装置の施設整備等を進め、入国旅客の迅速な通関を図る。
 - 最先端の技術・システムを導入し、保安検査の円滑化・高度化、顔認証技術を活用した諸手続の一元化、手荷物預けの自動化や手荷物受取の迅速化等を推進する。
- ・ 空港における日本文化や自然環境のPR等により、空港におけるおもてなし環境・賑わいの創出に係る取組を推進する。

③JNTO・DMOの大胆な改革

<訪日プロモーションの戦略的高度化>

- ・ JNTOの更なる改革や体制強化を進め、欧米豪を対象としたグローバルキャンペーンや富裕層対策の強化、デジタルマーケティングを活用したプロモーションの高度化、国別戦略に基づく現地目線でのプロモーション等の取組を推進する。

<世界水準のDMOの形成・育成>

- ・ DMOの運営に多様な主体が関与する仕組みの構築やDMO間の適切な役割分担に基づく広域的な連携の促進等を支援し、JNTOによるDMOへのコンサルティングやプロモーションノウハウの提供等を推進する。